

しらべ

No. 566 号

令和 7 年 (2025 年) 10 月 31 日

<https://www.maedachuo-e.sapporo-c.ed.jp>

One for all, All for one

主幹教諭

みなさんは、「One for all, All for one(ワンフォーオール、オールフォーワン)」という言葉を知っていると思います。ラグビーの世界でもよく使われる言葉ですが、私自身、学級目標に掲げていたこともあるほど、大好きな言葉です。調べたところ、この言葉の意味を誤解している人が多いと書かれている記事がありました。

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」と思っている方も多いと思いますが、そうではなく、「一人はみんなのために、みんなは一つの目的(目標)のために」というのが本当の意味だということです。どちらも間違っていないと思いますが、確かに後者の方が、私にはより納得できる意味のように思えました。つまり、「一つの目的のために、一人一人が全力でそれぞれの役割を果たす」ということです。

先日、学習発表会を終えましたが、これまでの努力や想いを伝えようとする子どもたちの姿に、胸を打たれました。まさに、「One for all, All for one」の言葉のように、自分たちの発表の大成功のために、一人一人が全力で役割を果たしていたと感じる素晴らしい姿だったのではないのでしょうか。学習発表会を通して、前田中央小学校の子どもたちみんなが輝き、また一つ大きく成長したと感ずることができました。これからも、「One for all, All for one」の心を大切に生活していただきたいと思います。

さて、大きな行事も終わり、目標がなくなり「やる気が出ない」と感じる人も多いかもしれません。そこで、新たなスタートにあたり、こんな話を思い出しました。

「ぼくの『やる気スイッチ』は、どこにあるんでしょう？」

これは、ある小学生からの質問ですが、同じように感じる人も多いかと思います。学習や生活において、せっかく目標を立てても、三日坊主で終わったり、やる気が出ないからとあきらめてしまったりすることを、いろいろな人からよく聞きます。

脳研究者の池谷裕二氏によると、脳の中に存在する「淡蒼球(たんそうきゅう)」という部位が活発に働くと、やる気がみなぎるそうです。でも、困ったことに、自分の意志では淡蒼球を動かすことはできない、とのこと。では、どうすればこの部位を動かし、「やる気スイッチ」をオンにすることができるのか。

池谷氏はその一つの方法として、とにかく「まず身体を動かすこと」だと言っています。身体は脳の支配下にあると思われがちですが、実は逆で、身体が主導権を握っているそうです。「楽しいから笑う」のではなく「笑うから楽しい」、「やる気が出たからやる」のではなく「やるからやる気が出る」「身体を動かすことでやる気が出てくる」ということなのです。だから、「やる気が出ない」と嘆くより、「やる気が出ないな」と感じたら、「まず動く」「まず机の前に座る」「まずやってみる」といったような習慣を付けていくことが大切なのだと思います。

2学期も残り2か月。「One for all, All for one」の心を大切にしながら、新たな目標をもって、みんなで「やる気スイッチ」をオンにしていきたいものです。そのためにも、学校・家庭・地域がともに、子どもたちの育ちを認め、子どもたちを最大限に励ます日々を送りたいと願っています。これからも、子どもたちの未来のために、ご協力をよろしくお願いいたします。